

学生のキャリア形成支援活動の概要

目的：高度な学術研究能力と高い実業的センスを併せ持つ若手研究者・学位取得研究者を育成するために、博士後期課程学生を対象として、イノベーション創出やプロジェクト型の研究開発に不可欠な研究におけるリーダーを養成している。

対象：博士課程全研究科 選択科目、参加学生：2名、

事前・事後学習を除いた企業等での就業体験日数：10日（大学等での就業を含めると120日）

概要：3～4ヶ月の実習期間を設定し、企業からの課題提示を受けて、マーケット調査、研究計画・予算の立案、チーム編成、研究の進捗管理など、企業で行われる研究リーダーと同様の業務を経験し、インターンシップでは経験できない研究リーダーの役割を実践する内容となっている。

評価のポイント

- 本プログラムに参加する学生からなるチームで研究インターンシップに取り組む中で、企業体系の下で**実習先企業の管理職による指導**を受けながら、リーダーとなる博士後期課程学生が企業の研究リーダー・マネジメント業務（就業体験）を実践するというユニークな試みとなっている。
- 日頃から企業と連携し、研究プロジェクトを実行する際に必要な**予算確保**や学生のフォローアップ等を適切に行うために、**本プログラムの企画・運営を担う専門人材を設置**するとともに、学内でPDCAサイクルを回す体制が整備されている。
- 週報、日報に加え、**中間・終了時に企業と大学合同のラップアップミーティングを実施**するなど、**学生の学修効果のアウトプットが組織的に共有できる仕組み**を構成している。

【申請年度：令和5年度、申請分類：タイプ4（高度専門型インターンシップ）】

問合せ先

大阪公立大学 国際基幹教育機構 高度人材育成推進センター
Tel:072-254-8266 E-mail: gr-idec-jinzai@omu.ac.jp

研究リーダー養成特別演習は、 企業体系の下で企業管理職の指導を受ける



実践講義演習とチーム型企業実習で研究リーダーを養成!

企業と連携した3~4か月のチーム運営

- ✓ 博士後期課程学生対象
- ✓ チーム員は前期課程、学域、学部生

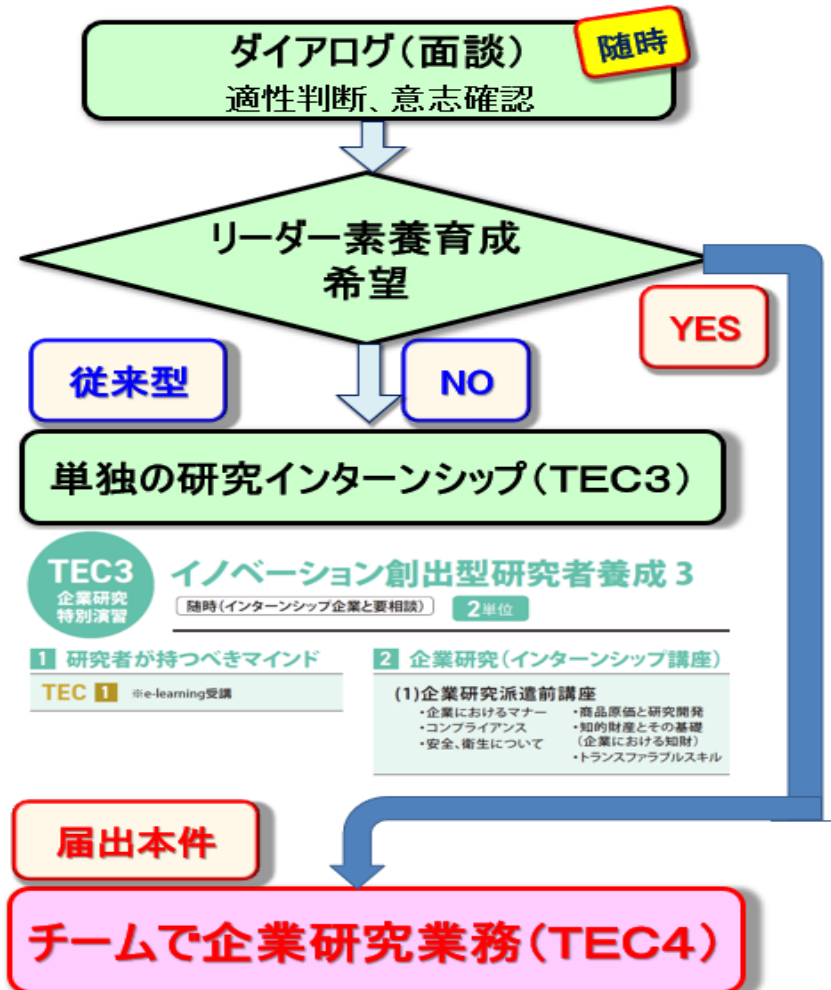
演習内容

研究費
50万円補助

- ・ 事前学習
派遣前講座、TEC関連講義 6コマ
- ・ 企業実習(約3~4ヶ月)
- ・ 企業内で報告会
- ・ 企業/大学合同ラップアップミーティング

■ 受講生はコーディネーターと相談し、研究インターンシップ(TEC3)か研究リーダー養成特別演習(TEC4)を決める。

■ 実績: 本件TEC4は2010年開始以来26名が受講



TEC3 企業研究特別演習 **イノベーション創出型研究者養成 3**
随時(インターンシップ企業と要相談) 2単位

1 研究者が持つべきマインド TEC 1 ※e-learning受講	2 企業研究(インターンシップ講座) (1)企業研究派遣前講座 ・企業におけるマナー ・コンプライアンス ・安全、衛生について ・商品原価と研究開発 ・知的財産とその基礎(企業における知財) ・トランスファブルスキル
---	---

TEC4 研究リーダー養成特別演習 **イノベーション創出型研究者養成 4**
随時(共同研究企業と要相談) 2単位

1 研究者が持つべきマインド TEC 1 ※e-learning受講	3 研究リーダー養成企業実習 (1)企業研究派遣前講座 ・企業におけるマナー ・コンプライアンス ・安全、衛生について ・商品原価と研究開発 ・知的財産とその基礎(企業における知財) ・リーダーの素養 ・研究計画立案・管理 ・トランスファブルスキル
---	---